

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第2グループ(錦ヶ丘・三田)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	多摩区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 錦ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,603人 ②年間延べ利用団体数 596団体</p> <p>2 南生田小学校わくわくプラザ ①登録者数 471人 ②年間延べ利用者数 21,178人</p> <p>3 生田小学校わくわくプラザ ①登録者数 228人 ②年間延べ利用者数 10,988人</p> <p>1 三田こども文化センター ①年間延べ利用者数 37,684人 ②年間延べ利用団体数 571団体</p> <p>2 三田小学校わくわくプラザ ①登録者数 320人 ②年間延べ利用者数 12,949人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 95,151,238</p> <p>2 支出 人件費 76,031,797 事務費 7,526,531 事業費 5,316,172 その他経費 94,340 合計 88,968,840</p> <p>3 差引 6,222,398</p>
サービス向上の取組	豊かな人間性・社会性を育むために、利用者が安全・安心かつ楽しく過ごせる場所を確保し、行事の企画にアンケート結果を反映させる等利用者の目線に立ったサービス向上を図っている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 第2グループは「ホテルの国deナイトハイク」の合同行事を開催し、交流の深化等を創出した。錦ヶ丘こども文化センターでは「Let's go! デイキャンプinこどもの国」の屋外開催や館内の「ファミリーコンサート」では必ず全員が参加できる場面を取入れた。三田こども文化センターでは落書防止を目的に「生田大橋に絵を飾ろう」を実施し、町内会や行政等地域と一体化した行事を開催した。三田小わくわくプラザでは「マンカラ大会」を開催し、地域住民等に対して積極的に周知した結果、利用者が10%増となった。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に処理されている。また、消耗品や備品購入などを精査し、最小限に抑えるなど、経費縮減に取り組んでいる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 利用者の目線に立ってサービスの向上を図るため、子ども文化センターでは毎月の「こども会議」の開催や、インターネットによる情報発信を図った。わくわくプラザでは年3回の「保護者懇談会」の開催や、こどもの送迎時に保護者に積極的に声かけを行い信頼関係の構築に努め、情報提供や行事の参加要請等をお願いした。行事の実施においては、幅広い年齢層のボランティアの協力を得て行うことができた。また、運営協議会で運営への積極的な関わりを促進し、地域と一体となった行事を実施することができた。これらの事実から、概ねサービス向上及び業務改善は図られていると評価した。</p>					
組織管理体制制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センターでは、職員2名で対応しているが、利用者の増加等に対して柔軟な対応をとることができた。わくわくプラザでは、職員4名で対応し、利用児童数が20名増加ごとにスタッフ1名を増員を図った。職員のスキルアップを図るため外部機関等と連携した研修を実施し、児童厚生一級及び二級の資格取得に繋げた。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設の構造や立地条件に応じた安全対策を講じた他、毎日の開館前の点検や必要な施設維持に努めている。衛生管理については川崎市の指導等に基づき、消毒等所要の措置を講じている。また、設置したAEDが適切に使用できるよう研修を実施し、全職員が普通救命講習を受講した。防災体制についてはマニュアルに基づく緊急時の対応体制等の構築を図っている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者(公益財団法人かわさき市民活動センター)のスケールメリットを活かした人員配置、経費削減、また、公益財団法人としての収支相償の会計原則の厳守による剰余金での環境整備など、運営面においては安定的な執行がなされている。

また、各館が培ってきた地域住民や関係機関との連携も非常に良好で、今後も地域一体となった運営が期待できる。

さらに、利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。

第2グループでは、地域ボランティアの活躍の場面が多くあり、また、子ども文化センターでは橋の落書き防止を目的とした絵の貼付など地域の中の施設として信頼を得るよう努めており、良い連携が図られています。さらに、事業の企画から実施に至るまで、小学生から大学生及び成人まで幅広い年齢層の協力を得る体制が構築されている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

わくわくプラザにおいては、利用人員の増加など環境が厳しい施設もあるため、安全等に十分配慮した運営を心がけること。

また、引き続き、利用者のニーズ等に応じて、サービス向上に努めるなど楽しさや信頼感あふれる運営を図るよう要請する。